

船舶事故調査報告書

平成29年6月1日
 運輸安全委員会（海事専門部会）議決
 委員 庄 司 邦 昭（部会長）
 委員 小須田 敏
 委員 根 本 美 奈

事故種類	乗組員行方不明
発生日時	不明（平成28年3月14日 06時00分ごろ～15日 13時10分ごろの間）
発生場所	不明（宮城県仙台塩釜港塩釜区 ^{ていざん} の貞山運河～福島県南相馬市東北電力原町火力発電所専用港の南東方沖の間）
事故の概要	プレジャーボートケントスは、無人で漂流しているところを発見され、船長が行方不明となった。
事故調査の経過	平成28年3月16日、本事故の調査を担当する主管調査官（仙台事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者からの意見聴取は、本人が行方不明のため、行わなかった。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	プレジャーボート ケントス、5トン未満 210-46252宮城、個人所有 6.72m (Lr) × 2.46m × 1.30m、FRP ディーゼル機関、83.85kW、平成11年3月
乗組員等に関する情報	船長 男性 69歳 一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定 免許登録日 平成12年2月24日 免許証交付日 平成26年4月22日 (平成32年2月23日まで有効)
死傷者等	行方不明 1人（船長）
損傷	なし
気象・海象	気象：天気 雨又は曇り、風向 北北西～南南東、風力 1～5 海象：波向 東～南東、波高 約1.0～2.0m、水温 約9℃ 宮城県東部には、3月14日19時07分に強風注意報が、21時31分に波浪注意報が発表され、本船発見時も継続中であつた。
事故の経過	船長は、平成28年3月14日06時00分ごろ本船で釣りをを行う目的で自宅を出発した。 船長の家族は、船長が夜になっても帰宅せず、連絡が取れないので心配になり、定係地である貞山運河に行ったが、本船が戻っていなかったため、20時21分ごろ海上保安庁に通報した。 本船は、海上保安庁の巡視船艇等による捜索が行われ、15日13

	<p>時 10 分ごろ、東北電力原町火力発電所専用港北防波堤灯台から真方位 125° 14.4 海里付近において、漂流しているところを航行中の貨物船により発見された。</p> <p>本船は、通報を受けた海上保安庁により無人であることが確認され、海上保安官の操船により福島県相馬港に回航された。</p> <p>船長は、海上保安庁の船艇及び航空機により捜索が行われたものの発見されず、行方不明となった。</p> <p>(付図 1 事故発生場所概略図 参照)</p>
その他の事項	<p>船長は、約 25 年前からプレジャーボートでの釣りを行っており、ふだん、1 人で本船に乗り組んで出航することが多く、16 時ごろには帰宅していた。</p> <p>船長は、自宅を出発する際、セーター、ズボン及びスニーカーを着用していた。</p> <p>船長は、ふだん、出航する際には携帯電話を携帯しており、救命胴衣を着用していた。</p> <p>船長の携帯電話は、本船が発見された際、船内になかった。</p> <p>本船は、発見された際、機関が中立運転となっており、船尾のスパンカが展張されていた。</p> <p>船長は、特段の持病等がなかった。</p>
分析 乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象等の関与 判明した事項の解析	<p>不明</p> <p>不明</p> <p>不明</p> <p>船長は、行方不明となった。</p> <p>本船は、船長が、本船で釣りをを行う目的で 3 月 14 日 06 時 00 分ごろに自宅を出発した後、15 日 13 時 10 分ごろ原町火力発電所専用港の南東方沖で無人の本船が発見されたことから、この間において、船長が、本船に乗り組んで出航した後、落水したものと考えられる。</p> <p>本船は、船長が釣りの目的で使用していたこと、及び無人で発見された際、機関が中立運転となっており、船尾のスパンカが展張されていたことから、釣りの目的で漂泊中、船長が、落水した可能性があると考えられるが、落水した状況を明らかにすることはできなかった。</p>
原因	<p>本事故は、本船が、釣りの目的で出航した後、船長が落水したことにより発生したものと考えられる。</p>
参考	<p>今後の同種事故等による被害の軽減に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 防水措置を施した携帯電話を常に身に着け、落水した際の連絡手段を確保しておくことが望ましい。

